

5. 稀釈試験

原点に集束すべき直線性が得られた。

6. 従来法 (two step 法) と本キットの相関

従来法との相関は良好であった。

7. 各種疾患における血中 FT₄ 値

健康人20例の FT₄ 値の M.V.±S.D. は 1.5 ± 0.29 ng/dl, 甲状腺機能亢進症未治療患者6例では 6.17 ± 2.64 ng/dl, 治療中患者に例では 3.24 ± 1.83 ng/dl, 甲状腺機能低下症治療患者3例では 0.51 ± 0.18 ng/dl, 妊娠期間(6~13 w) 16例では 1.47 ± 0.26 ng/dl, (14~16 w) 16例では 1.34 ± 0.37 ng/dl, (28~40 w) 16例では 0.8 ± 0.11 ng/dl であった。

18. Gamma Coat Free T₄ RIA キット (One-Step 法) による血中 free T₄ の測定

信田 憲行 (三重大・中放)
松村 要 中川 毅 田口 光雄 (三重大・放)

近年, RIA による各種 free T₄ キットが開発され日常検査に用いられつつある。

今回, われわれは, トラベノール社製ガンマ・コート one step free T₄ キットを使用する機会を得たので基礎的, 臨床的検討を行った。

操作は, 簡便であり, 標準曲線は, 安定していた。3種類の pool 血清による精度は C.V. 5.2~11.6%, 再現性は C.V. 6.3~13.8% であった。インキュベーション時間, 温度に関する検討では, 原法通り 37°C, 90 分が適当と思われた。平衡透析法による測定値との相関関係は 59 例で $r=0.908$ ($p<0.001$), $y=0.863x+0.091$ (x: 平衡透析法, y: 本法) と高い相関を示した。

各種症例における測定値は, 正常者24例では, 1.58 ± 0.25 ng/dl (平均 ±SD) に分布し, $X \pm 2$ S.D. を正常範囲とすると $1.08 \sim 2.08$ ng/dl となった。甲状腺機能亢進症は, 有意の高値で正常と重なりはなく, 機能低下症, 橋本病で有意の低値を示した。血清蛋白の変動する妊婦, ネフローゼ, Sick 例で低値を示した。また, 検体量を 50 μ l のところを 10, 25, 100 μ l と変動させた測定値の影響は, 検体量の減少とともに, 測定値も減少する結果を得た。これら測定法における血清蛋白濃度の測定値に及ぼす影響については, 今後さらに検討を要すると思われる。

19. Anti Rubella RIA Kit の基礎的検討

桶口ちづ子 松尾 定雄 市川 秀男
木村 得次 安田 鋭介 吉田 宏
矢橋 俊丈 金森 勇雄 (大垣市民病・特放)
中野 哲 綿引 元 武田 功 (同・2内)
佐々木常雄 石口 恒男 (名大・放)

風疹ウィルスの血清学的検査法には補体結合試験, 中和試験の他に, 現在最も広く実施されている赤血球凝集抑制試験 (HI 試験) がある。

今回, われわれはヒト IgG 風疹ウィルス抗体測定用 Radioimmunoassay (RIA) Kit を入手し, 基礎的検討を行ったのでその結果を報告する。

結果

I. Incubation 条件

1st. incubation; 2~5 時間, 24°C, 2nd. incubation; 3 時間, 24°C にて良好なる測定値が得られた。

2. 同時再現性の変動係数は 6.4%, 11.1% であった。

3. 日差再現性の変動係数は 20.2%, 30.5% であった。

4. 希釈試験

双曲線を示した。

5. RIA (Binding Ratio) と HI 法との相関,

両者間の相関係数は $r=0.341$ ($n=112$) であった。

6. RIA (半定量法) と HI 法との相関,

HI 法陰性, RIA で弱陽性を示した検体は 10.5% 認められた。しかし, HI 法32倍の弱陽性で, RIA 法にて陰性, を示した検体も 7.7% 認められた。

以上の如し, RIA キットによる IgG 風疹ウィルス抗体の測定は, HI 法とともにルーチンワークとして十分応用できるキットであると考えます。

20. 栄研 Thyroglobulin (Tg) RIA kit の基礎的検討と臨床応用

橋本 琢磨 岡田 敏春 松原 藤継 (金沢大・検)

二抗体法による栄研 Tg RIA kit の基礎的検討と臨床応用を行った。まず前処置としての RI-in vitro 法による抗甲状腺抗体測定と従来の HA 法による TGHA, MCHA (富士臓器) 値とを比較した。TGHAは陰性でも MCHA 陽性者は RI-in vitro 法で全例 10% 以上を示